



注：平成27年4月に始まった、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、自治体が生活困窮者を各種事業で支援する制度。事業には、自治体に実施を義務付ける「必須事業」と、自治体に実施の判断を委ねる「任意事業」とがある。

福祉・医療・保健

就労準備支援事業の実施を求める



宮田 真美 議員

生活困窮者の自立のためには、就労に向けた長期的で丁寧な支援と家族への支援、そして就労後のフォローも大切である。しかし本市では、生活困窮者自立支援制度の任意事業である就労準備支援事業を実施しておらず、就労に向けて心と体の準備を整えるための支援が手薄になっている。市民に寄り添い、就労準備支援事業を実施してほしい。

答 就労準備支援事業については、生活習慣の改善やコミュニケーション能力の向上など就労に向けた重要な事業であると認識している。平成31年度中に課題を明確にするため、関係機関との協議を進めていきたい。



福祉・医療・保健

本市での児童虐待の状況



古閑森 秀幸 議員

児童虐待による死亡事件が発生し、繰り返されるこの種の虐待事件については大変悲しいものがある。本市における児童虐待の状況はどのようになっているのか。

答 本市の児童虐待への対応件数は、平成29年度で13件、平成28年度に比べて4件減少している。内訳は、心理的虐待が6件、身体的虐待が4件、保護の怠慢・拒否に当たるネグレクトが2件、性的虐待が1件である。



教育・文化・スポーツ

ミライon図書館の内覧会について



小林 史政 議員

ミライon図書館の完成を記念して、NHKの巡回ラジオ体操を新図書館駐車場にて開催し、その後に新図書館の内覧会を行うとの説明があった。しかし、開催予定日の8月16日は金曜日であるため、その後内覧会に行きたくても、仕事などで行けない方が多いと考える。この際、16日（金）から18日（日）までの3日間で内覧会を開催すべきと考えるが、どうか。

答 内覧会の開催日については、8月16日（金）の巡回ラジオ体操当日や、8月17日（土）・18日（日）、夏休みの部分開館時も含め、10月5日のオープンに支障が出ないように、県と協議していきたい。



産業・経済・労働

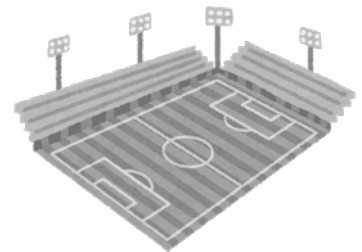
新工業団地へは優良企業を誘致すべきだ



水上 亨 議員

新工業団地造成工事は、関連工事費を含め約31億円の巨費を投じて3月末に完成する。市長は、4月の分譲開始と同時に完売を目指すとの答弁を繰り返していたが、V・ファーレン長崎のサッカー練習場への転用を模索している。市は、これまでの基本計画どおり1,000人の雇用と3,000人の人口増加を図るため、企業誘致へ全力を傾注すべきだ。

答 V・ファーレン長崎の新練習拠点について、本市としては黒丸町の総合運動公園の一部を候補地として関心表明をしていた。しかし、ジャパネットホールディングスとの協議を進める中で、新工業団地を候補地に絞り協議を継続することになった。その過程で市は、市内の複数の土地を候補地として提案している。





教育・文化・スポーツ



村崎 浩史 議員

2022年度の成人式の対応は？

2022年4月から、18歳が新成人となる。2022年度、つまり2023年1月の成人式は、20歳、19歳、18歳の3学年が成人式の対象となる。市教委としては、3学年をまとめて成人式を挙げる予定なのか。私としては、従来のとおり「二十歳」を対象にした式典を行うことを提案するが、どのように考えているか。

答 成年年齢が18歳に引き下げられることに伴う本市における成人式の対応については、まだ具体的な検討は行っていない。国においては、成人式の時期や在り方などについて検討が進められている。今後は、国の検討結果や他市の状況を注視しながら関係部局と協議を行い、なるべく早い時期に結論を出したいと考えている。



教育・文化・スポーツ



永尾 高宣 議員

竹松遺跡の保存を目指して！

竹松遺跡の発掘調査で平安から鎌倉時代にかけて存在した肥前最大の建物の跡地が発見され、まさに大村の「歴史」「誇り」「宝」であり、この遺跡を何らかの形で残すことができないか。また、現地に名称板を設置し、スマートフォンやタブレット端末などを使用し、デジタルコンテンツにより当時の様子をビジュアル的に体感できないか。大村市歴史資料館においても同様の展示ができないか。

答 今回発掘された大型建物跡については、後世に語り継ぐため、保存に適した土で遺跡の保護層を設けて盛り土を行い、建物跡を壊さず残すとともに、その歴史を分かりやすく伝えるため、写真パネルや説明文の掲示などについて協議を行っている。発掘調査の最終報告まで約2年かかるが、報告書ができ次第、企画展などの検討をしていきたい。竹松遺跡のその他の出土品については、大村市歴史資料館において常設展示を予定している。



都市整備

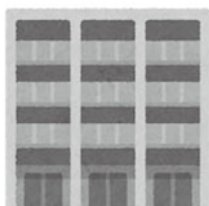


山口 弘宣 議員

市営岩舟住宅外周道路の拡幅改良について

市営岩舟住宅は、現在一部住宅を残し解体工事が実施され、更地になっている。この岩舟住宅の外周道路は、劣化がひどく、市道幅も狭く、緊急時の消防車、救急車も容易に通行できないと考える。更地になっている^{いま}現在こそ、道路の拡幅も含めた道路改良工事を実施しておくべきと考えるが、市の見解を尋ねる。

答 岩舟住宅の外周道路である市道岩舟住宅1号線の拡幅整備については、岩舟住宅解体後の跡地の活用方針と併せて、今後検討していきたい。



教育・文化・スポーツ



中瀬 昭隆 議員

歴史教育、母国語 日本語教育の重要性

日比谷の市政会館にある領土・主権展示館を訪問した。大正8年に尖閣諸島近海で中国の漁民が遭難した際、中華民国駐長崎領事から救助した日本人へ贈られた感謝状には「日本帝国沖縄県八重山郡尖閣列島」と明記されていた。外国に対する姿勢には、灰色ではなく白黒明白な理系的対応と自国を守る防衛力が不可欠である。また、英語教育の前に日本語教育の徹底が必要と考えるが、市の見解について尋ねる。

答 社会科の新学習指導要領では、主体的な社会形成への参画や、資料をもとに社会的事象を考察し表現するなどの課題解決的な学習の充実を図ると改訂された。今まで以上に、世界の歴史と関連づけながら主体的に歴史について学び、ひいては世界貢献を考える土台づくりとなると考える。また、国語科は全ての教科の根幹を成す教科であり、全学校がこのことを意識し、引き続き授業改善に努め、能力の育成を図る。

